

保育でのメディア活用に注目した情報処理テキスト開発の試み

An Experimental Development of ICT Textbook for Utilization of Media on Child-care

堀田博史* 深見俊崇*2 松河秀哉*3 松山由美子*4 森田健宏*5
Hiroshi HOTTA Toshitaka FUKAMI Hideya MATSUKAWA Yumiko MATSUYAMA Takehiro MORITA

中村恵*6 奥林泰一郎*3 佐藤朝美*7 吉崎弘一*8
Mugumi NAKAMURA Taichiro OKUBAYASHI Tomomi SATO Koichi YOSHIZAKI

園田学園女子大学* 島根大学*2 大阪大学*3 四天王寺大学短期大学部*4
Sonoda Women's University Shimane University Osaka University Shitennoji University Junior College
関西外国語大学短期大学部*5 奈良佐保短期大学*6 東京大学*7 秋田大学*8
Kansai Gaidai College Nara Saho College Tokyo University Akita University

〈あらまし〉 幼稚園や保育所でのメディア活用は、(a)園務を効率的に処理するための保育者のメディア活用、(b)保育のねらい達成を支援するための保育者のメディア活用、(c)メディアに親しみ、遊びを広げるための幼児のメディア活用 に分類できる。今回、これら3つの分類を網羅した保育とメディアに関する情報処理テキストの開発を試みた。

テキストの特徴として、Word や Excel などの Office 系ソフトウェアの基本操作だけではなく、放送番組やデジタルカメラの活用方法などの教育方法・技術を習得することで、保育現場で必要に応じてメディア活用できる情報活用力を育成することができる。

〈キーワード〉 保育者養成、情報処理教育、カリキュラム、テキスト、幼児教育

1. はじめに

幼稚園教諭免許を取得するためには、教育職員免許法施行規則第 66 条の 4「情報機器の操作および情報教育」の履修が必要である。履修内容は、多くの保育者養成大学では、Office 系ソフトウェアの操作法を中心としたカリキュラムで構成されている。幼稚園や保育所でのメディア活用は、以下の 3 つに分類され、Office 系ソフトウェアの操作法は、主に(a)に該当する部分となる。

- (a) 園務を効率的に処理するための保育者のメディア活用
- (b) 保育のねらい達成を支援するための保育者のメディア活用
- (c) メディアに親しみ、遊びを広げるための幼児のメディア活用

松山 (2003) は、保育者としてのメディアリテラシーを育成することを目標に情報教育カリキュラムを開発・実践している。駒谷 (2012) の著書『わくわくメディア探検』は、メディアと楽しく上手につきあう方法として、メディアリテラシーの習得を目指したテキストである。これらは、それぞれ主に(b)・(c)に注目したものであり、(a)・(b)・(c)のすべてを網羅したカリキュラムや

テキストはほとんど存在していない。

2. テキストの開発手順と学習内容

そこで筆者らは、3つの分類を網羅した保育とメディアに関する情報処理テキストの開発を試みた。開発手順は図 1 のとおりである。

手順 1 全米乳幼児教育協会(NAEYC)が作成している、保育にパソコンを活用する時の指針“Technology and Young Children - Ages 3 through 8”を参考に、日本版の保育におけるメディア活用ガイドラインを作成した(堀田ら, 2011a)。

手順 2 全国の保育者養成 454 の大学・短大から、保育とメディアに関係するシラバス提供を得た(回収率は 61.0%)。シラバスの内容から、保育とメディアに関するものを抽出して、ガイドラインの内容と合わせたカリキュラムを開発した(堀田ら, 2011b)。

手順 3 提供を得たシラバスで採用頻度の高い Office 系の操作方法、特に Word と Excel を取り上げ、題材を保育内容に置き換えテキスト化した。

これらの手順により、表 1 の学習内容を完成させた。

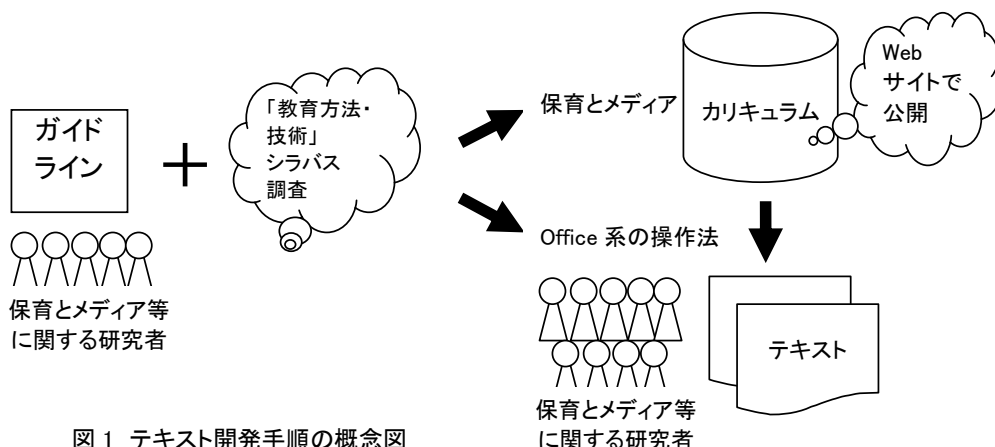


図1 テキスト開発手順の概念図

3. 学習内容の特徴

テキストは23のLessonから構成されている。半期15回の授業で、(a)・(b)・(c)のどの分類にも入れて展開するから、Lessonの選択ができるように考えた。

保育者に求められるメディア活用は、WordやExcelの基礎・応用だけではなく、PowerPoint、電子メール、ホームページ作成など多様である。

それに加えて、放送番組やデジタルカメラの活用法、幼児向けのプログラミングの教育方法・技術を保育者養成大学で習得することで、保育現場で必要に応じてメディア活用できる情報活用力を育成することができる。

今後は、開発されたテキストの有効活用について、多くの保育者養成校での利用による検証を進めていく。

表1 開発した学習内容

分類	保育とメディアに関する学習内容(手順1・2で開発)
-	幼稚園・保育所でのメディア活用とは
b	デジタルカメラの活用
a	園だよりの作成～Wordの基本操作と行事表の作成～
a	保育案の作成～Wordによる複雑な操作をマスター～
b	教育番組の活用例とそのイメージ化
b	教育番組の内容理解
c	文字や数への興味・関心も高める活動
b	保育でのメディア活用時の環境構成
b	卒園アルバムの作成～Windows Liveムービーメーカーの活用～
分類	Office系操作法に関する学習内容(手順3で開発)
a	フォルダ管理とファイル保存
a	インターネット検索
a	電子メールの送受信
a	キーボードトレーニング
a	ホームページで情報発信
a	情報倫理～保育者に求められる情報モラル～
a	実習日誌の書き方～Wordの作表技術を高める～
a	名簿の作成～Excelの基本操作と名簿表の作成～
a	グラフの作成～Excelによる身長・体重の推移を視覚化～
a	宛名ラベルの作成～Excelのラベル作成ウィザードを使いこなす～
a	成長記録表の作成～WordとExcelの連携技術をマスター～
b	ポスターの作成～PowerPointの基本操作と視覚的な支援教材の作成～
c	幼児とプログラミング～スクイークEtoysの活用～
c	絵本づくり～ビッケのつくるえほんの活用～

【参考文献】

堀田博史・森田健宏・松河秀哉・松山由美子・村上涼・吉崎弘一 (2011a), 保育におけるメディア活用ガイドラインの開発と評価, 日本教育工学会論文誌 35 (Suppl.), p.41-44

堀田博史・松河秀哉・松山由美子・森田健宏・村上涼・吉崎弘一 (2011b), 保育におけるメディア活用をイメージできるカリキュラムの開発, 日本教育工学会第27回全国大会講演論文集, p.353-354

駒谷真美 (2012), わくわくメディア探検～子どものメディアリテラシー～メディアと楽しく上手につきあうコツ, 榊同文書院

松山由美子 (2003), 保育者養成短期大学における情報教育カリキュラム(4), 名古屋柳城短期大学研究紀要, p.113-128